

RCS-C から SCON への移行手順

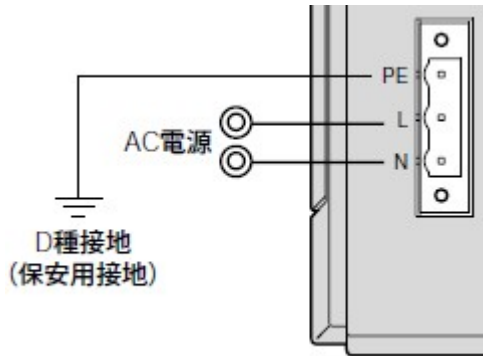
<<ハードの作業>>

【電源】(追加・変更作業)

コントロー購入時、RCS-C と同じ電源電圧仕様のものので SCON を発注してください。

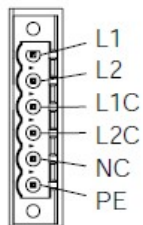
SCON を取り付ける際、必ずノイズフィルタを設置する必要があります。

《RCS-C》



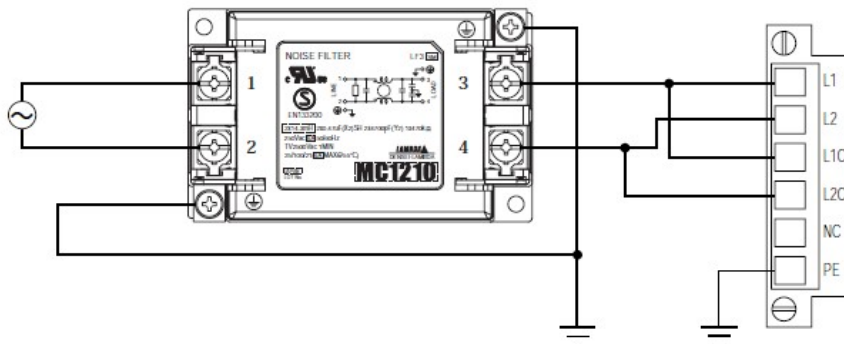
《SCON》

AC100V/200V単相入力用の電源接続コネクタです。制御電源側とモータ電源側で分割入力となっています。



項目	仕様	備考	
コネクタ (ケーブル側)	6ピン2ピース コネクタ	MSTB2,5/6-STF-5.08 フェニックスコンタクト製	
適合ケーブル サイズ	制御電源 0.75mm ² (AWG18) モータ電源 2mm ² (AWG14)	推奨むき線長さ 7mm	
端子割付	ピンNo.	信号名	
	1	L1	モータ電源AC入力
	2	L2	モータ電源AC入力
	3	L1C	制御電源AC入力
	4	L2C	制御電源AC入力
	5	NC	未接続
	6	PE	接地端子

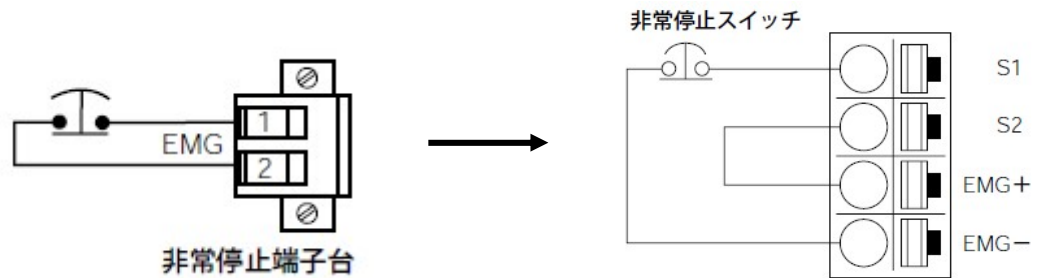
相手側コネクタは、信号名が記載されています。



⚠注意：ノイズフィルタは必ず設置してください。

【非常停止回路 (システム I/O コネクタ)】 (変更作業)

RCS-C の非常停止コネクタの 1 に配線されているケーブルを SCON のシステム I/O コネクタの S 1 へ。
2 に配線されているケーブルを SCON のシステム I/O コネクタの EMG- へ配線する。



【ブレーキ電源】 (追加作業)

ブレーキ付アクチュエータを使用する場合、RCS-C ではブレーキ電源は必要ありませんでしたが、SCON ではブレーキ電源をコントローラに入れる必要があります。

ブレーキなしのアクチュエータ使用時には、ブレーキ電源の電源供給はしないでください。誤作動の原因になる場合があります。

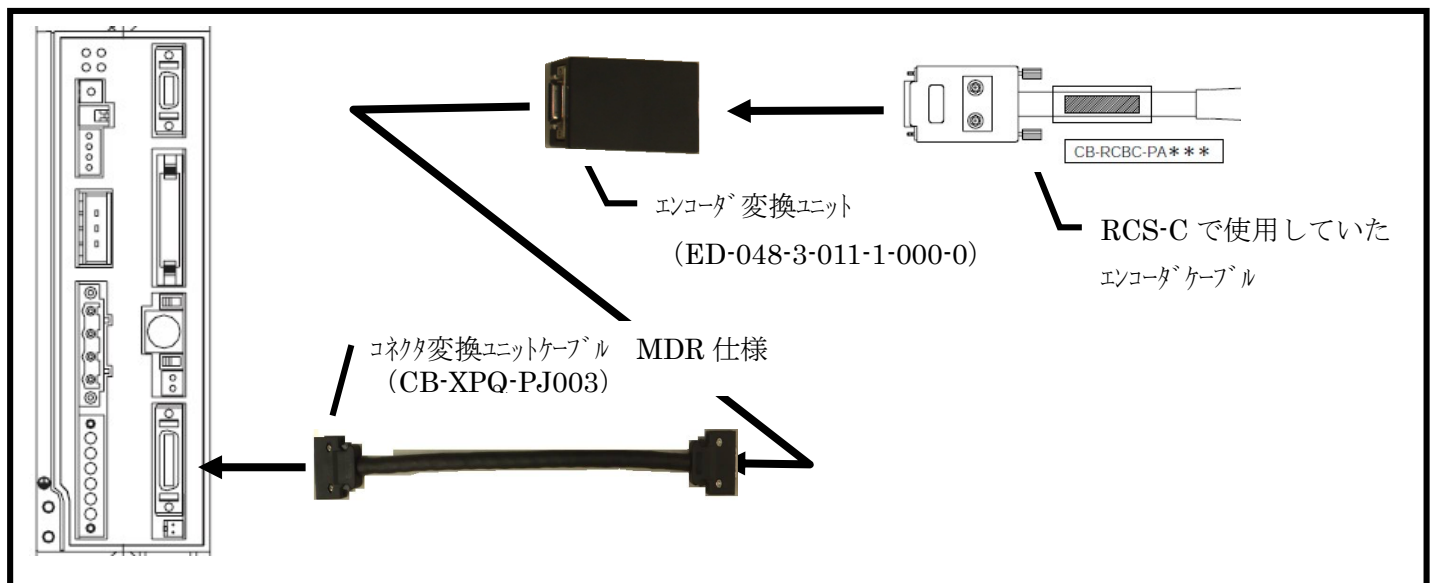
【モータケーブル】 (変更なし)

そのまま流用が可能です。

RCS-C から取り外したモータケーブルを、そのまま SCON に接続してください。

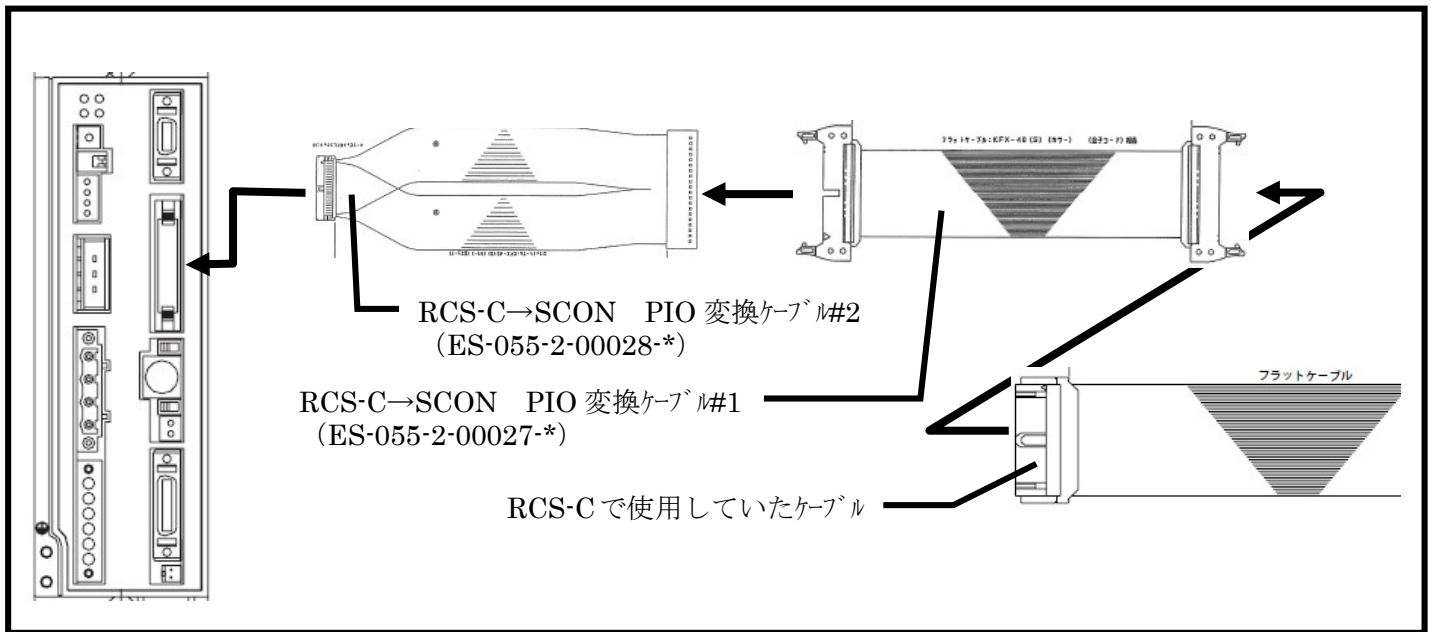
【エンコーダケーブル】 (部品追加)

RCS-C からエンコーダケーブルを取り外し、変換ケーブルを挟み込み SCON へ接続します。



【I/O 配線】（部品追加）

RCS-C から I/O ケーブルを取り外し、変換ケーブルを挟み込み SCON へ接続します。



<<ソフトの作業>>

【パラメータ】

RCS-C で使用している軸型式を指定して、コントローラを注文していただくと、そのアクチュエータに適したパラメータが書き込まれて納品されます。

- ① SCON ではいくつかの PIO パターンを選択できますが、PIO パターンはデフォルト値で使用します。

PIO パターン（パラメータNo.25） = 0

- ② これは一時停止信号なので RCS-C で一時停止無効にしている場合は SCON のパラメータも変更する必要があります。有効としている場合は、変更する必要はありません。

一時停止有効無効選択（パラメータNo.15） = 0 （無効時のみ変更）

- ③ MOVE 信号を使用している場合、『FPIO』のビット 2 を 「0」 から 「1」 に変更する必要があります。この変更は、裏パラメータでしか変更できませんので、コールセンター（0800-888-0088）までお問合せください。

【ポジションデータ】

RCS-C で使用していたポジションデータを、そのまま使用することができます。

使用に際しては、以下の手順に従ってください。

- ① RCS-C のポジションデータをパソコンに保存
- ② パソコンを SCON に接続し、ファイルの種類を RCS ポジションデータとして呼び出し、コントローラに転送する

以上